

プロジェクト名：

大規模導水路建設計画

基本情報

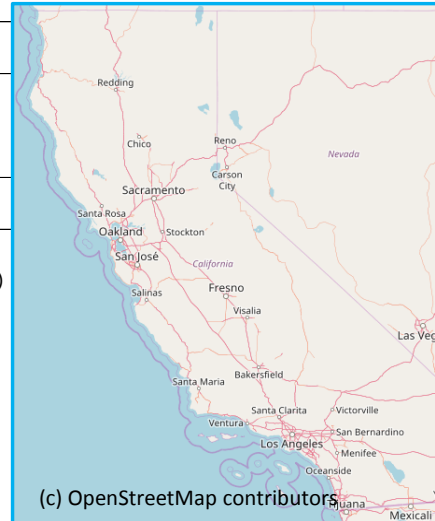
国,州：アメリカ カリフォルニア州

事業体名：南カリフォルニア都市圏水道公社※

予算規模：160億ドル（約1兆6,800億円）
[1USD = 105.24円(2018.3.19時点)]

期間：未定

備考：※南カリフォルニア都市圏水道公社
(MWD : Metropolitan Water District of Southern)
・ 1928 年に設立されたカリフォルニア州南部最大の
水道用水供給事業者であり、カリフォルニア州北
部とコロラド川からの水を消費者に供給してい
る。
・ ロサンゼルス水道電気局等に用水供給している。
・ ロサンゼルス水道電気局の2006-2010 年の平均
供給量は、市全体の給水量の 5 割を上回っている。



概要

- ・ 北カリフォルニアから南カリフォルニアの都市を結ぶ2本の大規模導水路建設計画
- ・ サクラメント川とサンホアキン川が合流するサクラメント・サンホアキンデルタ地帯の水を、主に州の南半分の農場や住民に、運河により供給する。
- ・ 2017.10.10時点では、約56.3 km、2,200万m³/日を予定しており、建設されれば、50年ぶりとなるカリフォルニアで最も野心的な水プロジェクトとなるが、トランプ政権が建設に反対しているため、先行きは不透明である。

背景情報

- ・ 人口 400 万人を擁する大都市ロサンゼルス市は、太平洋に面するカリフォルニア州南部に位置する。比較的降水量の豊富な州北部に比べ、南部は水資源に乏しく、東側には砂漠地帯が広がっている。こうした気候条件のもと、十分な水源の確保がロサンゼルス市の発展にとって重要となっている。
- ・ カリフォルニア州は、干ばつに伴う渇水対策として、様々な節水対策を行っている。
- ・ ロサンゼルス市は、干ばつによる影響や外部水源（MWD）からの購入量を抑えるため、様々な節水対策を行っている。例えば、1990年以降、販売奨励金などの政策により、480万超の省水型便器やシャワーヘッドなどが一般住宅に導入され、その節水効果は累計27億m³にのぼる。こうした努力の結果、100万人以上の人口増加にもかかわらず、LAの水需要は過去25年間でほとんど変化していない。

参考資料等

- ・ U.S.News :Big Water Tunnels Project OK'd by Southern California Agency (2017.10.10)
<https://www.usnews.com/news/best-states/california/articles/2017-10-10/big-water-tunnels-project-okd-by-southern-california-agency>
- ・ U.S.News :Trump Opposes Massive California Water Project (2017.10.25)
<https://www.usnews.com/news/politics/articles/2017-10-25/apnewsbreak-trump-opposes-california-water-project>
- ・ JWRC水道ホットニュース：第309-2号 ロサンゼルス市の水道事情について（平成24年4月6日）
<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/pdf/HotNews309-2.pdf>